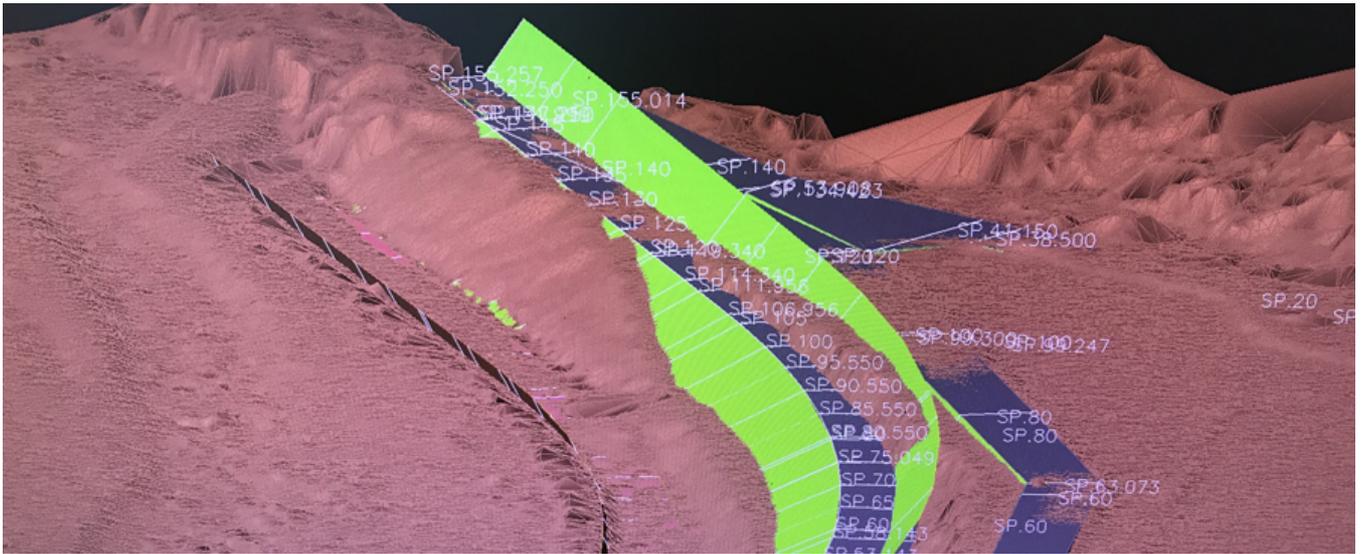


小規模土工にも様々なメリットあり！

一度使えばさまざまな
効率化がイメージできる

■■ 現場詳細 ■■

北海道 湧別川災害復旧工事
台風の豪雨により土砂流出した左岸を護
岸整備する工事。

【施工距離】 152m

【施工土量】

掘削780m³/盛土1,870m³

【ソリューション】

Everyday Drone

スマートコンストラクションアプリ

【ICT建機】 PC200i/PC128USi

■■ 導入経緯 ■■

(株)尾崎建機 土木課長 大関雄樹さん
当社では、今後訪れるであろう人手不足
に対応する為、また日々進化するICT
施工技術に乗り遅れないよう、近年チカ
ラを入れており、ICT建機の導入も積
極的に行っております。初めてICT
建機を使う時は正直不安しかありません
でしたが、一度使うと「こんな場面でI
CT建機を使うと楽になるだろうな」、
「あの工程は作業員が不要になるから別
の作業をしてもらえるな」等、様々な現
場の効率化がイメージできました。今回
の小規模土工の現場でも必ずメリットが
あると思い、今回の導入を決めました。



(株)尾崎建機

土木課長 大関雄樹さん



窪田建設(株)

土木課長 菅原幸男さん

北海道
(株)尾崎建機 様

創業 1965年

北海道紋別市に拠点を置き建設工事業を
中心に建設機械リース、運輸業を通し、
地域発展に貢献をしております。

掲載月:2020年3月

『見えないムダ』も
ICT建機で減らせる！

■■ 導入効果 ■■

(株)尾崎建機

土木課長 大関雄樹さん

作業場所は崖地で築堤天端は狭隘な環境
でした。掘削した土砂を流用し盛土する
為、従来施工で法面整形するには、盛土
の高さに制限がありました。当初計画で
は法面を3分割にして施工する予定でし
たが、ICT建機を導入することで建機
の性能の限界まで法面整形することがで
き、法面の施工を2分割に少なくするこ
とが出来ました。短期間ではありましたが1
回目にPC200i、2回目にPC128USi
を使用することで土工事の一切の無駄を
なくすことができました。また、分割回
数が減ったことで、仮置きが必要だと想
定していた土砂を仮置きせずに使用でき
ました。丁張の設置が最小限で済むとい
った単純な工期短縮は当然ですが、仮置
き等の設計に反映されない『見えないム
ダ』を減らすことができるのはこのICT
建機を使う大きなメリットだと思いま
す。施工時期が冬季であったので、掘削
から盛土法面整形の期間が短くて済むの
は、凍結による品質不良を防ぐことにつ
ながり、大変有効だと感じました。

